

標 題	浜田市弥栄町でアイガモロボの放鳥式を開催！
-----	-----------------------

(ダイジェスト)

令和4年6月6日に井関農機(株)、有機米実証栽培に取り組む生産者、浜田市ほか関係機関が集まり、アイガモロボの放鳥式を行いました。浜田市、島根県より生産者へのエールを送り、生産者より産地作り宣言を行いました。

去る2月1日に島根県、浜田市、井関農機(株)で連携協定が結ばれ、有機米産地づくりに向けたプロジェクトが発足しました。本プロジェクトでは有機栽培に取り組む生産者の多い浜田市弥栄町をモデル地域に設定しました。そして、井関農機(株)と島根県の持つ技術・ノウハウを投入し、作業の省力化と有機米栽培面積拡大、担い手づくりを図ります。併せて有機米の販路開拓に取り組み、有機米実証栽培に取り組む生産者と関係機関が一体となって有機米産地づくりを目指します。

有機米栽培において一番の課題は雑草の除草です。井関農機(株)で開発中の抑草ロボット(通称：アイガモロボ)は田の中を自動で泳ぎ回り、スクリーンで水をかき混ぜ、土を巻き上げて水を濁らせます。これにより光を遮り、雑草の発生や生育抑制が期待できます。一方、島根県農業技術センターでは、雑草抑草に有効な作土層の上部に堆積する手触りがなめらかで有機質に富む膨軟な層、いわゆる「トロトロ層」に注目しており、この「トロトロ層」形成を促す有機栽培技術指針を取りまとめています。これらを組み合わせて除草にかかる労力の大幅な削減と安定生産に繋げることが、本プロジェクトの成功のカギとなります。

6月6日の放鳥式当日は、井関農機(株)、生産者、地元の小学生、浜田市ほか関係機関より多数の参加者が集まりました。まず浜田市からの本プロジェクトの趣旨の説明が行われました。そして浜田市長他代表者4名による田植えを行い、井関農機(株)よりアイガモロボの説明後、田にアイガモロボを放ちました。浜田市長と島根県西部農林水産振興センター所長より有機米実証栽培に取り組む生産者に向けてエールを送り、生産者からは産地作り宣言を行い、プロジェクトが動き出したことを関係者一同で実感する場となりました。

農業振興部としては、プロジェクトの成功に向けて実証ほ場での栽培指導を中心に支援を行っていきます。



放たれた抑草ロボット



関係者で写真撮影